

令和8年2月1日現在(前月比) 人口/242,430人(-188) 男/115,375人(-92) 女/127,055人(-96) 世帯数/122,613世帯(-82) 面積/191.52km²



救急車の適正利用にご協力ください



救急車を利用する前に

徳島市の統計上、過去10年間で搬送された人のうち、約半数が軽症(入院を要しない)と診断されています。

◆救急医療の受診について

症状に緊急性がないにもかかわらず、「交通手段がない」「どこの病院に行けばよいか分からぬ」「便利だから」と救急車を呼ぶ人がいます。

また、「平日休めない」「日中は仕事がある」「明日は仕事」などの理由で緊急外来を夜間や休日に受診する人もいます。

救急車や救急医療は限りある資源です。いざというときの皆さん自身の安心のために、救急医療の受診について考えてみましょう。

[実際にこうしたケースで救急車が呼ばれました]

- ・血は止まっているが紙で指を切った
- ・病院でもらった薬がなくなった
- ・海水浴に行って日焼けした足がひりひりする
- ・病院で待つのが面倒なので、救急車を呼んだ――など

◆迷った場合はご相談ください

救急車の適正利用について▼

救急車を利用するか迷った場合、まずはかかりつけ医にご相談ください。また、休日や夜間で判断に迷ったときは、電話医療相談や救急受診アプリQ助(下記内容参照)をご利用ください。



判断に迷ったときにご利用ください

◆電話医療相談

休日・夜間に急病で「病院を受診した方がいいか」「救急車を呼ぶべきか」など、判断に迷ったとき、医師や看護師が電話でアドバイスします。

■徳島救急医療電話相談

#7119または(☎622-6530) #8000または(☎621-2365)

[相談時間] (#7119、#8000共通)

▶月曜～土曜日=18:00～翌朝8:00

▶日曜・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)=24時間対応

◆全国版救急受診アプリ「Q助」

医療機関を受診するタイミングや受診方法などが分かるアプリ。症状など必要な情報を選択すると対応方法が表示されるほか、医療機関、受診手段の検索ができます。

詳しくは、総務省消防庁ホームページをご確認ください。



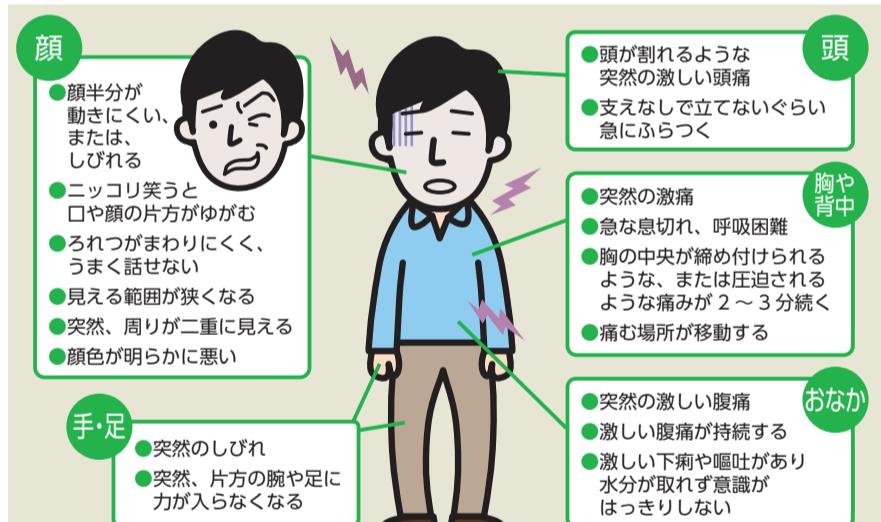
全国版救急受診アプリ「Q助」▲

徳島市内の救急出動件数は、14,747件(前年より70件減)で、出動理由は1位「急病」9,379件、2位「一般負傷」2,287件でした。救急車の出動が増えると、現場から遠くにいる救急車が出動することになり、到着まで時間がかかることがあります。大切な命、救える命を救うため、救急車の適正利用にご協力をお願いします。



こんな時はためらわず119番!

次のような場合は、重大な病気の可能性があるため、ためらわずに119番通報してください。



◆救急車を呼んだら用意しておくと便利なもの

- マイナンバーカード
- マイナ保険証または資格確認書
- 診察券
- お金
- 靴
- 普段飲んでいる薬(おくすり手帳)
- タオル
- ――など

[乳幼児の場合]

- 母子健康手帳
- 紙おむつ
- 哺乳瓶
- タオル
- ――など

◆救急車が来たらこんなことを伝えてください

- 事故や具合が悪くなった状況
- 応急手当をした場合はその内容
- 具合の悪い人の情報(持病、かかりつけの病院やクリニック)
- ――など

救命講習を開催しています

救急車が来るまでに行う応急手当を勉強するのが救命講習です。

市消防局では、心肺蘇生法やAEDの使用方法、その他の応急手当の知識・技術を習得してもらうため、救命講習を開催しています。もしもの時のために、救命講習を受講して応急手当の方法を覚えましょう!

◆普通救命講習(心肺蘇生法などの応急手当)

[とき]毎月第3日曜日13:00～15:00

[ところ]奇数月=東消防署(新蔵町1)、偶数月=西消防署(庄町1)

[申し込み方法]開催日の1週間前までに、電話またはファックスで消防局警防課へ

詳しくは、市ホームページをご確認ください。



[問い合わせ先]消防局警防課(☎656-1192 ☎656-1201)



発行:徳島市 〒770-8571 徳島市幸町2-5 ☎088-621-5111(代表)